

**平成30年度  
県人会担い手育成招へい事業  
報告書**

**期間：平成30年7月6日(金)～17日(火)**

**主催：公益財団法人福岡県国際交流センター**

# 目次

・ごあいさつ	1
・概要	2
・参加者名簿	3
・全体プログラム日程	5
・プログラム内容	6
・参加者等の感想	12
・事業の総評	14
・参加者レポート／子弟	15
・参加者レポート／引率者	26
・参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	32
・福岡県の海外県人会について	37
・実施要綱	38

## ごあいさつ

福岡県からの海外移住は、1885年のハワイ移住に始まり、北米さらには中南米と広がりました。移住した人々は、異国の地でお互いに助け合いながら生きていくために「海外福岡県人会」（以下、県人会）を設立し、現在、移住者やその子孫等で構成される県人会は、世界9か国、20か所にあります。

移住者は、言葉はもとより気候、社会習慣など全く異なる環境でたいへんな苦勞をしながら、その勤勉さや誠実さで非常に高い評価を得ており、子弟教育等で移住国の発展に大きく貢献してきました。現在では、政治、経済、教育、文化、医療など様々な分野で活躍し、それぞれの国において尊敬と信頼を得る存在となっています。

グローバル化が進展し、本県が国際社会の中、海外との交流を積極的に行うなかで、県人会は移住国との交流の懸け橋として、貴重な財産です。

一方、移住から長い年月が経過し、多くの県人会では、日本語や日本文化を知らない世代が増えています。県人会のさらなる発展、本県と移住国との交流促進のためには、次世代を担う若い世代の人たちに、日本のこと、そして自らのルーツがある福岡県のことを知っていただくことが、大変重要であると考えています。

そこで、県人会の子どもたちを母県へ招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通じて、福岡や日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、県人会の核となる後継者を育成することを目的に、本センターでは2008年より「県人会担い手育成招へい事業」を実施しております。本事業は、今年で11年目を迎え、これまでに子弟191名、引率者96名が参加しました。

今年度は、8か国12県人会から、子弟21名、引率者10名が参加し、子どもたちは、自身と同じように福岡にルーツを持つ子どもたちがいることを初めて知ること、滞在中に互いの絆を深め、また、ラーメンの麺を粉から作り、自分で作ったラーメンを食べるという体験にとっても感動していました。帰国後には、福岡への留学を目指して日本語の勉強を続けているという話も聞いて、大変うれしく思っています。本事業で得た経験やネットワークを生かし、参加者の皆さんが、将来、母国の県人会で中心的存在となって、日本・福岡県とのさらなる友好の懸け橋として活躍していただきたいと思っております。

なお、今年は9月に福岡において、第10回海外福岡県人会世界大会の開催を予定しておりますので、多くの県人会からご参加いただけることを、期待しております。

最後に、本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆さま、及び福岡市立那珂小学校、北九州市立木屋瀬小学校をはじめとする、受け入れいただいた関係機関に心から御礼申し上げますとともに、この事業の今後さらなる発展にご支援いただきますようお願いいたします。



公益財団法人 福岡県国際交流センター  
理事長 藤永 憲一

# 概 要

## 1 目 的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

## 2 期 間：平成30年7月6日（金）～17日（火）

## 3 招へい者人数：8カ国31名【内 訳】子弟21名、引率者10名

国 名	子弟者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	4	1
パラグアイ共和国	1	1
コロンビア共和国	2	1
ボリビア多民族国	2	1
ペルー共和国	2	1
メキシコ共和国	1	1
アメリカ合衆国	7	2
カナダ	2	2
合 計	21	10

## 4 内 容

### (1) 同年代の子どもたちとの交流

福岡市立那珂小学校、北九州市立木屋瀬小学校、宗像市小学生との交流デイキャンプ、竹下太鼓グループとの交流

### (2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察（福岡市民防災センター、福岡タワー、マリワールド）、北九州市内視察（木屋瀬宿場町記念館見学）、宗像大社見学、青少年科学館見学等

### (3) ルーツを探る

親戚宅、知人宅、家族会会員、ボランティア宅へのホームステイ

### (4) 日本文化の体験

茶道、和太鼓、浴衣着付け、書道、けん玉、ラーメン作り体験 等

## 5 主催： 公益財団法人 福岡県国際交流センター

共催： 宗像市

# 参加者名簿

【参加者】 8カ国11県人会から子弟20名、引率者10名が参加しました。

No.	県人会名	引率 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	齊藤 かおり リビア	女	ブラジル
2			山下 カルロス エドワルド 雄一	男	
3			原田 行徳 ルアナ	女	
4			満生 秀喜	男	
5		引率	重 エリッキ 和男	男	
6	在ボリビア福岡県人会	子弟	日比野 早恵	女	ボリビア
7			米倉 潤	男	
8		引率	仁田原 愛	女	
9	コロンビア福岡県人会	子弟	田中 かおり	女	コロンビア
10			手嶋 慶治	男	
11		引率	森光 パウラ 春美	女	
12	南加福岡県人会	子弟	レムリア 広中 瑠菜	女	アメリカ
13			ブラウン チャーリー ニウ	女	
14	シアトル・タコマ福岡県人会	子弟	藤本 翔 エイダン	女	
15		引率	クイック 恵美	女	
16	ハワイ福岡県人会	子弟	クッパー ジョーダン	女	
17			ディア イサ	男	
18			紀村 ジョナサン	男	
20		引率	イノウエ ジョーイス	女	
19	コナ福岡県人会	子弟	アサクラ ライリー	男	
21	メキシコ福岡県人会	子弟	ブラド タナカ ガブリエル ヒロシ	男	
22		引率	タナマチ カストロ ヘラルド	男	
23	ペルー福岡クラブ	子弟	ナガハマ マドックス	男	ペルー
24			仲里 アマンダ アイリ	女	
25		引率	イシカワ タティアナ	女	
26	パラグアイ福岡県人会	子弟	ヘルマン 松尾 エリアス イサム	男	パラグアイ
27		引率	アルサメンディア 松尾 マルセロ ヒデキ	男	
28	バンクーバー福岡県人会	子弟	片山 シャンティ 蒼空	女	カナダ
29		引率	亀頭 加代子	女	
30	トロント福岡県人会	子弟	石井 歩加	女	
31		引率	福岡 美香 キャサリン	女	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	中村 幸恵 サリー	女	ブラジル
2		新垣 要吉 ファービオ	男	
3		恒富 ジアナ 美樹	女	
4	在ボリビア福岡県人会	オガタ ナカムラ デニセ ミナ	女	ボリビア
5	ペルー福岡県人会	たくま 新川 ジェシカ	女	ペルー
6	パラグアイ福岡県人会	北川 徹也	男	パラグアイ
7	メキシコ福岡県人会	田中 ゴーメス ヨシロ アルフレード	男	メキシコ
8	アルゼンチン福岡県人会	船越 カティア 亜矢子	女	パラグアイ

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

Aグループ	子弟：齊藤 かおり リビア 山下 カルロス エドワルド 雄一 原田 行徳 ルアナ 満生 秀喜	引率者：重 エリッキ 和男 留学生：中村 幸恵 サリー 恒富 ジアナ 美樹
Bグループ	子弟：日比野 早恵 米倉 潤	引率者：仁田原 愛 留学生：オガタ ナカムラ デニセ ミナ
Cグループ	子弟：田中 かおり 千嶋 慶治 ブラド タナカ ガブリエル ヒロシ	引率者：森光 パウラ 春美 タナマチ カストロ ヘラルド 留学生：田中 ゴーメス ヨシロ アルフレード
Dグループ	子弟：ナガハマ マドックス 仲里 アマンダ アイリ ヘルマン 松尾 エリアス イサム	引率者：イシカワ タティアナ 留学生：たくま 新川 ジェシカ 北川 徹也
Eグループ	子弟：藤本 翔 エイダン レムリア 広中 瑠菜 ブラウン チャーリー ニウ 石井 歩加	引率者：クイック 恵 福岡 美香 キャサリン 留学生：新垣 要吉 ファービオ
Fグループ	子弟：タッパー ジョーダン ディア イサ 紀村 ジョナサン アサクラ ライリー 片山 シャンティ 蒼空	引率者：イノウエ ジョーイス 亀頭 加代子 留学生：船越 カティア 亜矢子

# 全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7/6 (金)	終日	入国	グローバルアリーナ
7 (土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	昼	歓迎会	
	午 後	小学校での出し物準備	
8 (日)	午 前	宗像市小学生との交流キャンプ	グローバルアリーナ
	午 後	福岡教育大学学生と交流	
9 (月)	午 前	議会見学・表敬、副知事表敬	グローバルアリーナ
	午 後	センター表敬 宗像大社	
10 (火)	終 日	福岡市立那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		和太鼓グループとの交流	
11 (水)	終 日	北九州市立木屋瀬小学校との交流	グローバルアリーナ
	夜	浴衣着付・書道・けん玉体験	
12 (木)	午 前	福岡市防災センター、福岡タワー	グローバルアリーナ
	午 後	マリンワールド	
13 (金)	午 前	ちくご手作り村（ラーメン作り体験）	ホームステイ
	午 後	福岡県青少年科学館見学 ホストファミリーとの対面式	
14 (土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
15 (日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
16 (月・祝)	午 後	引率者会議	グローバルアリーナ
		送別会	
17 (火)	終 日	出 国	

# プログラム内容

平成30年7月6日(金)～17日(火)

第1日目	<p>6日(金)</p> <p>◎入国</p> <p>7カ国(ボリビア・パラグアイ・コロンビア・メキシコ・ペルー・アメリカ・カナダ)から子弟17名、引率者9名が来福しました！前日までの豪雨の影響で、空港からグローバルアリーナまでの時間はかかったものの、無事に到着することができました。</p>
第2日目	<p>7日(土)</p> <p>◎午前：オリエンテーション</p> <p>オリエンテーションでは、主催の福岡県国際交流センター企画交流部岡松課長からの歓迎挨拶、スタッフ紹介の後、プログラムの趣旨や参加の心得、スケジュールの説明に加えて、参加者が自己紹介をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>岡松課長挨拶</span> <span>自己紹介</span> </p>
	<p>◎昼：歓迎会</p> <p>グローバルアリーナ内レストラン「GA倶楽部」にて、歓迎会を行いました。豪雨の影響で、福岡県海外移住家族会役員の多くが出席することができず、総勢45名が出席しました。子弟・引率の自己紹介の後、それぞれのテーブルで参加者と交流しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
	<p>◎午後：那珂小学校交流の準備</p> <p>7月10日(火)に訪問する那珂小学校と7月11日(水)に訪問する木屋瀬小学校での母国紹介の準備をしました。参加者は、母国から持ち寄った写真や資料を使って、美しく、個性的に作成していた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>ボリビア福岡県人会</span> <span>ハワイ福岡県人会 ハワイ島福岡県人会</span> <span>トロント福岡県人会 バンクーバー福岡県人会</span> </p>
	<p>◎夜：ブラジル福岡県人会からの参加者が到着</p> <p>航空機遅延により到着が遅れていたブラジル福岡県人会からの参加者5名が、ようやく他の参加者と合流し、遅くまで、母国紹介の準備を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>



<p>第3日目</p>	<p>8日 (日)</p>	<p>◎終日：宗像市小学生との交流デイキャンプ</p> <p>宗像市内に住む国際交流に興味のある小学生20名と、グローバルアリーナでデイキャンプを行いました。県人会の子弟と宗像市の小学生がグループとなり、竹鉄砲やそうめん流し、おにぎりを作ったりしながら交流しました。午後は、地元の福岡教育大学の学生たちが企画したゲームで、参加者たちは言葉の壁を越えて交流をすることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">竹鉄砲作り                      竹鉄砲遊び                      竹鉄砲遊び</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">そうめん流し</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">福岡教育大学学生によるゲーム</p>
	<p>第4日目</p>	<p>9日 (月)</p>

第4日目

9日  
(火)

◎夕方：宗像大社 見学

宗像大社では、地元の英語ボランティアガイドに説明していただきながら、神社でのマナーや宗像大社の歴史などを学んだ。



◎夕方：小学校訪問 国別紹介の練習（リハーサル）

翌日の小学校訪問に備えて、国別紹介のリハーサルを行った。参加者は、ほかの国の発表資料に興味津々で、演奏したり、踊ったりして、盛り上がった。



第5日目

10日  
(火)

◎終日：福岡市立那珂小学校との交流、茶道体験、竹下太鼓グループとの交流

那珂小学校では、最初に歌と山笠唄で歓迎され、大勢の前で日本語で自己紹介を行った。その後、各学年のクラスに分かれ、母国紹介、英語授業、習字を体験した。初めて体験する給食やお掃除に、とても楽しそうに参加していた。



茶道体験では、全員がお茶をたてさせてもらい、苦いお茶と正座を体験した。茶道体験と同時に体験してフラダンスでは、ハワイからの参加者が、ウクレレを演奏し、地域のフラダンスチームが踊る場面もあり、盛り上がった。



竹下太鼓では、太鼓チームの演奏を聴いた後、参加者は太鼓を教えてもらい、全員で一曲を完成させ、演奏を行った。



第6日目

11日  
(木)

◎終日：北九州市立木屋瀬小学校との交流

体育館にて、5～6年生と交流し、七夕の短冊にお願いごとを書いたり、木屋瀬かるたと使った歴史の紹介を見たり、みんなで宿場廻りを体験したりした。各クラスでは、授業に参加したり、掃除体験をしたりした。参加者の中には、初めて体育の授業を受けた子どももいた。



◎夕方：木屋瀬街並み散策

木屋瀬小学校交流の後、地域の方の案内で、木屋瀬宿場町を散策し、神社や地域の山笠を見学した後、歴史記念館で伝統的な展示物に興味津々であった。最後は、木屋瀬の小学校の近くのラーメン屋さんでおいしいラーメンとぎょうざに興奮していた。



◎夜：宗像市内小学生たちによる浴衣着付け及び日本文化体験

参加者は、宗像市内の小学生たちから、けん玉や、習字、浴衣のきつ付けを教えてもらった。この時間帯は、大人の通訳を介さず、子どもたち同士のみで交流したため、時々言葉の壁にぶつかる様子もあったが、宗像市内の小学生たちが、一生懸命に説明してくれたので、参加者も一生懸命に理解しようと努力して、有意義な交流ができていた。



<p>第7日目</p> <p>12日 (木)</p>	<p>◎午前：福岡市民防災センター、福岡タワー</p> <p>参加者は、消火体験、地震体験、強風体験、火災現場体験を行い、防災についてたくさん学んでいた。その後、福岡タワーの展望台から、絶景を楽しんだり、トリックアートで写真を撮りたくさんとっていた。</p>  <p>◎午後：マリンワールド</p> <p>福岡タワーの近くからフェリーに乗って、対岸のマリンワールドまで移動した。あざらしエサやり体験やイルカショーを見学した後、それぞれが水族館を楽しんだ。</p> 
<p>第8日目</p> <p>13日 (金)</p>	<p>◎午前：ちくご手作り村（ラーメン作り）</p> <p>移動中、昨年同時期に発生した朝倉地域の九州北部豪雨災害の復興の様子を視察した。その後、ちくご手作り村でラーメン作りを体験した。材料を混ぜ合わせるころから、麺を細く切るところまでを自分たちで行い、昼食にはそのラーメンを食べた。</p>  <p>◎午後：福岡県青少年科学館</p> <p>館内は自由行動で、それぞれ興味のあるエリアで実験したり、触ったり、体感したりした。</p>  <p>◎夕方：ホストファミリー対面式</p> 

第9日目	14日 (土)	◎終日：ホストファミリーとの交流
第10日目	15日 (日)	◎終日：ホストファミリーとの交流
第11日目	16日 (月・祝)	◎昼：引率者会議  引率者及び留学生より、今年の子弟招へいプログラムに対する感想や意見などについて協議しました。
		◎午後：送別会  ホストファミリー35名、家族会会員14名を含む総勢100名が参加し、送別会を行いました。ホストファミリーとの最後の時間を楽しみました。
		
第12日目	17日 (火)	◎帰国 12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。

# 参加者等の感想

## ●子どもたちからの感想

- ・言葉を知らなくても友だちになれること、何に対しても、責任が必要などを学びました。
- ・このプログラムで私は日本語を学び、奨学金を受けて日本に帰ってきたいと強く思いました。
- ・物事に責任感を得たことを学びました。
- ・色々な国からきている参加者と話せたことは、とても良い経験となり、思い出のひとつになりました。
- ・日本人の規律正しさや、どこでもきちんと整理整頓されているのには、驚かされました。
- ・今回初めて日本で体験したことは、日本語の勉強をもっと頑張る高いモチベーションとなりました。そして、規律の良い事例にもなる文化のこの素晴らしい国へまた行くように強い気持ちが湧いてきました。
- ・最初に、僕はとても緊張をしていましたが、いろいろな国の子どもと知り合っるととてもうれしくなりました。
- ・僕の世代の交流、小学校での経験、時間を守ること、お互いに尊敬する心、いいことだと思いました。
- ・他のいろいろな国にある福岡県人会の友たちから教えていただいた、みんなの様々な文化と慣習の事も、たくさん勉強になりました。
- ・お友達と話をしているうちに、国が違っても、私たちが思っていることや悩んでいることに共通点がたくさんあり、心が通じる仲になりました。
- ・言葉が通じなくてもコミュニケーションが取れて、お友達になれることがわかりました。
- ・戻ってきて日本のことがもっと好きになりました。自分のルーツがある土地のことをもっと知りたいし、また早く行きたいです。
- ・全部自分でやることで、少し自分に自信が持てるようになりました。
- ・お友達を作るのにいろんな方法があることを学びました。
- ・親の手伝いもなく、一人で考えて、行動できることを学びました。

## ●保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- ・子どもが一番感動したのは、日本の美しさ（掃除も含めて）、安全、教育と親切なおもてなしだそうです。
- ・帰国後、家庭の中では日本語で会話をしようと思いをしたようです。
- ・日本から帰って来てとても何でも積極的にするようになりました。
- ・このプログラムは、日本文化の知識獲得の為、勉強を継続することを促進すると思います。
- ・日本の文化・日本語には興味が高まっていて頑張って日本語の授業を続けています。
- ・前より自分のことが自分でできるようになりました。
- ・あまり話さなかった日本語も話すようになりました。
- ・世界中から集まった人々と一緒に時間を過ごす事によって、多くの文化及び伝統の存在を認識する事が出来ました。
- ・自分たちの慣れない環境で得た経験は、今後少しずつでも考え方や生活に影響すると思っております。違う言語圏の文化、考え方に触れた事で、多様な価値観がある事に気づく事が出来た様です。
- ・。出発の時、不安な表情のまま発ちましたが、帰ってきて娘の最初の言葉が「楽しかった」でした。
- ・このプログラム参加後に、自信と自立心が強くなりました。
- ・何事にも怖がらずに挑戦すると言う気持ちになりました。
- ・帰国後の娘は、行動する前に一度考えて実行に移す、と言う風に変ったように思います。

#### ●引率者からの感想

- ・子供達は自分の目で日本の組織や規律や清潔などを体験できました。
- ・地域の方々や子どもたちとの交流の中で、若い頃は気が付かなかった人々の暖かさや、地元を強く想う気持ち、その気持ちを表す様々な活動にふれ、とても大きな刺激になりました。
- ・日本文化に日系の子どもたちや私たちが近づき、新しい経験ができて、とても光栄です。
- ・なぜ私たちが日系なのか、なぜ私たちに日本の血が入っているのか、自分のルーツについて少し知ることができた。
- ・楽しむだけではなく、参加者との交流を通じて他の国と日系社会についていろいろ習いました。
- ・福岡県の歴史、そして「今」を知ることができました。
- ・他の国の福岡県人会の皆様と知り合いになって、県人会の様子や違いを色々話することができて勉強になりました。
- ・私は日本人にとって何が重要なのかをより理解できるようになったと思います。旅の途中でいろいろな人に出会いましたが、日本人の人が重要と考えるものは心からの尊敬と他人に対する感謝であることに気が付きました。
- ・この企画の素晴らしい点は、青少年にこのような経験をさせることによって県人会の会員の獲得につながるというだけでなく、日本人が全体としてどのように考え、ふるまい、行動するのか青少年が理解できるようになるという利点があると考えます。
- ・日本を出て、改めて、日本の集団・和の力・おもてなしの心などを感じ、これらを大切にする日本の良さが伝わるといいなと思いました。

#### ●県費留学生からの感想

- ・プログラムに参加した事で、子供との接し方を習い、彼らと、このプログラムでしか学べないことを学ぶことが出来ました。日本の小学校の日常を見ることは、とても有意義な経験だと思います。
- ・私が学んだことのすべては、将来に役に立ち、多くの日系人がいる国での日本文化の波及に非常に重要であることを願っています。
- ・このプログラムで、私に、他の国の日系人と会う機会をいただきました。
- ・学んだことは、子供たちが日本の文化に興味を持っていたことです。私は言語が交流の壁にならなかったことに驚きました。
- ・互いの国のことを学ぶためには、互いの考えや習慣を尊重し、つねに学ぶ気持ちで接することができれば、国境の壁はなくなるということをこのプログラムで学びました。
- ・色々な場所を訪問した中でも小学校で学生達が小さいながらも丁寧に「おもてなし、おもてなしをせんといかん」と友達と話しながら子供、留学生、引率者のお世話をする姿、嫌な顔せずに給食の準備、後片づけ、掃除などをしているのを見たときに‘こういった指導から日本の文化が他の国から尊敬されるのかな’と思いました。また、住む国は違うけれど親、または祖父母が同じルーツと言った共通点を持つ幅広い世代の人達と知り合う事が出来ました。
- ・まだよく知らない人達と協力して協調性の練習になりました。
- ・日本文化を守って、その知識を教えるのが大切だと思います。県人会は、毎年若い参加者が減っています。そして、日本文化も少しずつなくなっています。このプログラムで福岡に興味を持たせる力があると、参加して分かりました。

## 事業の総評

今年度は、8カ国12県人会から31名が参加した。期間中、宗像市の小学生との交流では、竹水鉄砲やそうめん流しなど、同年代との交流を行った。福岡市内の那珂小学校では、全学年別に交流し、4～6年生のクラスでは英語授業や日本文化を体験し、放課後には茶道や和太鼓交流を体験した。また、今年は、小学校交流を増やして、初めて北九州市内の木屋瀬小学校と交流した。木屋瀬小学校との交流では、七夕体験や宿場踊りを踊ったり、授業に参加したりした他、地域の方々の案内で、宿場町としての情緒あふれる街並みを散策することができた。

また、昨年より過去のグローバルステージ派遣事業参加者である福岡県内の青年たちが、宗像市の小学生との交流において、福岡教育大学の学生とともに、サポート役として参加することで、海外福岡県人会からの参加者と交流することができた。参加者の中には、派遣事業参加時に交流した引率者と再会し旧交を深めた者もいた。

3泊4日のホームステイでは、久しぶりに会う親せき宅や知人宅、あるいは初めて会う方のご自宅で過ごし、それぞれのルーツを学んだり、福岡県内を観光したりして、たくさん思い出を作っていた。

引率者会議では、プログラムの感想や帰国後どのように県人会担い手として育成するかについて、意見交換を行った。感想では、他地域の県人会からの参加者と出会い、福岡につながりを感じることもできた、二つの小学校交流では、種類の違う交流ができてよかったとの意見であった。

本プログラムでは、各県人会から本県に1年間留学している福岡県移住者子弟留学生（県費留学生）にも毎年協力してもらっており、子弟たちの身の回りのお世話や言葉のサポートをすることで、子弟たちの大きな支えとなっている。今年は、6カ国6県人会から8名の県費留学生が来福している。子弟たちにとっても、県費留学生たちと触れ合えたことは、貴重な体験となっており、これをきっかけに日本語をもっと勉強して、将来、県費留学生として再び福岡県に来てみたいという夢を持って帰国した子どもたちも数多くいた。

また、今年の引率者のうち2名は過去の同期の県費留学生で、留学時とは違った福岡を知り、また、出発から帰国まで、子弟を責任もってお世話する大事な役目を経験したことで、多くを学ぶことができた様子であった。これらの経験を通じて、本県に対する関心や愛着をさらに深め、県人会の次世代の担い手として活躍できるように、各県人会と連携しながらフォローアップに努めてまいりたい。



# 参加者レポート 子弟

## Aグループ



ブラジル福岡県人会

齊藤 かおり リビア  
SAITO LIVIA KAORI

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は同じ年の子どもたちと過ごすことができていろいろなことを覚えました。

言葉を知らなくても友だちになれること、何に対しても、責任が必要などです。参加する前は、いるものがあったら、どの品物が安いか、調べずに買っていました。けれども、プログラムでは、先に安い値段を探してから、計算し、そしてブラジルのお金に換えて買い物しました。

日本の文化の中で覚えたのは、いつも人に親切に、時間を守ることが大切、お礼を言う（これからいつもお礼を言います。）、家に入る前に靴を脱いで、スリッパで入ることなどです。だから、本当に、この経験に感謝しています。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘をプログラムに参加させていただき本当に感謝しています。

いろいろな国の子どもたちと交流して、学校の見学をして、できないことをたくさんできるようになったように感じます。そして人を信じることができるようになりました。娘が一番感動したのは、日本の美しさ（掃除も含めて）、安全、教育と親切なおもてなしだそうです。その経験は、一生忘れないと思います。

本当にありがとうございました。



ブラジル福岡県人会

山下 カルロス エドワルド 雄一  
YAMASHITA YUITI CARLOS EDUARDO

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅では、日本の文化や習慣から多くを学ぶことができました。

アルゼンチン・パラグアイ・ボリビア・メキシコ・ペルーというさまざまな国の留学生にも会うことができました。

また、このプログラムで私は日本語を学び、奨学金を受けて日本に帰ってきたいと強く思いました。

私は、自分の生き方が変わるような小さなことを学びました。それは、食べる前と後に感謝し、食べる時間が神聖で無駄ではないことです。

### ～親御さんからのメッセージ～

私たちの息子が、交流に参加できたことを非常にうれしく思います。

彼は、将来医学部を卒業したのち、県費留学生プログラムで日本に住み、日本語でコースを修了したいと言っています。

## Aグループ



ブラジル福岡県  
人会

原田 行徳 ルアナ  
GYOTOKU HARADA LUANA

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

物事に責任感を得たことを学びました。  
 例えば、荷物、時間、お金、尊敬、感謝といろいろ。世界のお友達との会話にもっと日本語、英語、スペイン語の勉強が必要であるということ。  
 そして、初めてのみんなと入るお風呂はとても楽しかったです。

### ～親御さんからのメッセージ～

私の娘、ルアナをプログラムに参加させて下さいまして、本当に心から感謝いたします。  
 帰国後、ルアナは、以前より大人っぽく、しっかりした子になり、よくお話をしたり、もっともっと日本語を勉強したりして、青年部に入りたいと言っています。



ブラジル福岡県  
人会

“満生 秀喜”  
HORI MANSYOU CAIO HIDEKI”

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本ではいろいろなおもしろい体験ができました。  
 福岡県の名物の博多ラーメンを自分で作ってみました。おいしかったです。  
 福岡市民防災センターでは地震や火事の訓練を受けました。  
 新幹線に初めて乗りました。本当に早いです。あっという間に次の町につきました。  
 茶道でお茶を飲みました。ちょっと苦くてあまりおいしくなかったですが、体験できてよかったです。  
 日本へまた行ってみたいです。今度はもっと長い間いて、いろいろな新しいことを体験したいです。

### ～親御さんからのメッセージ～

この研修で息子は日本やラテンアメリカ（ボリビア、メキシコ、ペルー、パラグアイ、アメリカ、カナダ、ハワイとアルゼンチン）の子どもたちと交流ができて、視野が広がりました。これからは、いろいろな人と友達になったり、日本の文化にももっと興味を示したりしています。また、家庭の中では日本語で会話をしようと決意をしました。これも研修のお陰です。親として、心から感謝しています。

## Bグループ



在ボリビア福岡県人会

日比野 早恵  
HIBINO SAE

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、はじめて日本に行き、福岡の町を見ることができました。このプログラムに参加できて、すごくいい経験になりました。短い間でしたが、友達がたくさんでき、いろいろなことを学びました。

宗像市の小学生の子どもたちと折り紙をしたり、けん玉で遊んだり、竹の水鉄砲を作って、それでみんなと遊んだり、流しそうめんを食べたり、浴衣を着せてもらったり、日本のいろいろな文化を体験して楽しく過ごすことができました。

一番思い出に残っていることは、参加者のみんなと一緒にマリソワールドに行って、アザラシとイルカのショーを見たことです。友達と楽しく過ごし、とてもうれしかったです。

県人会の方々、お世話になった皆さま、ありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

今回のプログラムに娘を参加させていただき、ありがとうございました。

いろいろな国の子どもたちと出会い、楽しい日々を過ごさせていただき、感謝しています。小学生との交流、日本文化、歴史などを間近で感じることができ、いろいろなことに興味がわいたようです。最近では、日本語をもっと勉強したいと言うようになりました。

福岡県庁をはじめ、国際交流センターの方々、お世話になった皆さま、ありがとうございました。



在ボリビア福岡県人会

米倉 潤  
YONEKURA JYUN

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、このプログラムに参加して、日本文化を習わせていただきました。

和太鼓、お茶、折り紙、けん玉、七夕、浴衣の着付け、水鉄砲を作ってみんなで遊んだのが、一番楽しくて、その後にみんなと仲良くなれたのでよかったと思います。

一生忘れることのない良い思い出がたくさんできました。

みなさんどうもありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

福岡県国際交流センターのみなさま、この度は息子潤が大変お世話になりました。

短い期間でしたが、とても良い体験をさせていただきました。今は、特に目立った変化はございませんが、長い目で見て、将来この子のためになることと信じております。

本当にありがとうございました。

## Cグループ



コロンビア福岡県人会

田中 かおり  
TANAKA KAORI SOFIA

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡を訪問する機会を与えてもらって感謝しています。このプログラムに参加して色々な経験をする事ができました。

私は日本で文化、習慣、歴史、祖父母のルーツを学びました。ますます日本が好きになりました。日本人の規則正しさや優しさや努力家であることを学びました。日本のすばらしさが良くわかりました。

もっと日本の事が知りたいと思いました。お寺や福岡タワーなどみて、福岡がとても好きになりました。色々な国からきている参加者と話せたことは、とても良い経験となり、思い出のひとつになりました。

また、機会があれば福岡へ行ってみたいです。

本当に福岡県国際交流センターの皆様を初め、このプログラムにかかわられたスタッフの方大変お世話になりました。

### ～親御さんからのメッセージ～

この度は、大変お世話になりました。日本から帰って来てとても何でも積極的にするようになりました。日本に今まで以上に興味を抱くようになりました。

本当に有難うございました。



コロンビア福岡県人会

手嶋 慶治  
TESHIMA KEIJI DAVID

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡へ行く機会をくださったことを、大変感謝いたします。色々な事をたくさん学ぶ事ができました。

日本文化のすばらしさや、先祖のことや日本人の優しさや親切なところなどたくさん事を学びました。小学校訪問や、お寺や水族館や福岡タワーの見学などの経験は、ぼくにとって心に残る忘れられない大切な思い出になりました。

日本人の規律正しさや、どこでもきちんと整理整頓されているのには、驚かされました。ここでも日本人のすばらしさを感じました。

茶道や書道なども経験できたこと、小学校訪問で子供たちと遊んだこと、ラーメンの作り方を教えてもらったことなどぼくの一生の宝物です。

本当にありがとうございました。また、ぜひ日本にいきたいです

### ～親御さんからのメッセージ～

福岡の皆様本当に有難うございました。

息子はプログラムに参加してからは、すぐく日本に興味を示すようになりました。なんでも積極的に参加するようになりました。日本語の勉強にも力をいれるようになりました。

### Cグループ



メキシコ福岡県人  
会

ブラド タナカ ガブリエル ヒロシ  
PRADO TANAKA GABRIEL HIROSHI

#### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで感動的だったのは、福岡県庁への訪問で、小川県知事が喜んで歓迎してくれたことです。また、宗像神社では、福岡県にある秘密の島で、3つの島の中、10日間ごとに承認を受けた人しか訪問できないと学びました。小学校訪問はとても重要な経験で、日々、日本人小学生たちは一人ひとり規律よく、積極的に食事を出したり、喜んで学校を掃除しています。木屋瀬小学校では福島県での養魚に関する事を教えて貰いました。一番好きで、驚いたのは、災害防止センターで、火事、台風や地震の場合、何をしないといけないかを学びました。最後の日、福岡空港では、12歳の僕の誕生日のためにわざわざケーキを皆で買ってくれました。福岡県でこのプログラムをしてくれる皆さんに感謝します。今回初めて日本で体験したことは、日本語の勉強をもっと頑張る高いモチベーションとなりました。そして、規律の良い事例にもなる文化のこの素晴らしい国へまた行くように強い気持ちが湧いてきました。

#### ～親御さんからのメッセージ～

今回の日本への初めての旅以前に、我が息子は常に日系人としての誇りを持っていました。そして、日墨協会及び福岡県人会の行事に参加するのはとても好きでした。今回の旅から戻ってきたところ、また日本へ行く、より高いモチベーションで硬い決心を持つようになりました。日本人のルーツに関するより高い誇りを持ち、一生懸命勉強し、日本語を上手になりたいようです。違う制度でまた来年、2019年にもう一度日本へ行きたいと話しています。これを実現するために頑張る決心があります。日本とメキシコ間の交流を強化する今回のようなプログラムが存在していることはとても嬉しくて感謝します。これらプログラムは、日本文化の知識獲得の為、勉強を継続することを促進すると思います。

### Dグループ



ペルー福岡県人会

ナガハマ マドックス  
NAGAHAMA USHIJIMA MADDOX KAZUO

#### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

最初に、僕はとても緊張をしていましたが、いろいろな国の子どもと知り合っとてもうれしくなりました。メキシコ・ポリビア・カナダ・ブラジル・アルゼンチン・パラグアイ・ハワイ・コロンビアの子どもと友達になることができ良かったとおもいます。小学校の訪問をして、日本の学校の生活を体験させてもらって忘れられない体験です。日本の子どもは、自分でご飯を運んで食べてから片付けます。また、日本の文化体験をしてもらってありがとうございます。ペルーに帰って大切なことは日本語を続けることです。そのため、日本語の授業を続けて、ある日、正しい日本語ができたらいと思います。今、日本語を頑張っています。今度日本に行くチャンスがあれば、是非戻りたいと思います。

#### ～親御さんからのメッセージ～

うちの子は日本から戻ってきてとても変わりました。今、自分の活動で独立ができました。また、日本の文化・日本語には興味が高まっていて頑張って日本語の授業を続けています。学校の同級生に日本でできた体験について話したりしています。この旅、マドックスは成長したと思います。

## Dグループ



ペルー福岡県人会

仲里 アマンダ アイリ  
NAKAZATO UMESAKI AMANDA AIRI

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムのおかげで日本の習慣や文化に触れることができました。日本の学校も見ることができ、学校で色々な活動をして楽しかったです。お寺を見学して、日本の仏教のことを少し知ることができました。福岡の料理はとておいしかったです。福岡の町はとてきれいでした。高くてきれいな建物が多くてびっくりしました。

友達もいっぱいできて、みんなはとて優しくしてくれました。

福岡県国際交流センターの皆さん、どうもありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

アイリは初めて一人で旅行することとても緊張していましたが、帰国したときは、とてうれしそうでした。福岡で体験したことをワクワクして、話してくれました。友達もたくさんできて、とて喜んでいきます。前より自分のことが自分でできるようになりました。日本のこともっと知りたくなり、これからも日本語の勉強を続け、県人会に協力して参加するようにします。

アイリにこんな貴重な経験をどうもありがとうございました。



ブラグアイ福岡  
県人会

ヘルマン 松尾 エリアス イサム  
HELMAN MATSUO ELIAS ISAMU

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

まず初めにこの素晴らしいチャンスを僕に与えてくれて有難うございます。福岡にこの事業で行けたことをとて感謝しています。二週間でしたが日本の文化とマナーを感じることができました。特に僕の世代の交流、小学校での経験、時間を守ること、お互いに尊敬する心、いいことだと思いました。いろんな体験をさせてもらいました。習字、おりがみ、給食、英語、体育、それぞれ素晴らしい時間を過ごしました。もう一つは日本以外のブラジル、コロンビア、ハワイ、カナダからの生徒たちとの交流したことです。みんなと楽しく交流が出来てうれしく思っています。交流を受入れてくれた学校では、皆さんからとて優しくしてもらいました。

みなさま、たいへんありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

この度はこのような素晴らしい事業に参加させていただき心から感謝いたします。実を言いますと、私の方が息子の福岡訪問、特に日本文化を体験することについては、うれしくてワクワクしていました。この素晴らしい母県福岡の育成事業には感謝いっぱいです。思っていたとおり、帰国後、福岡に関するコメントの毎日でした。特にあまり話さなかった日本語も話すようになりました。あらためて御礼申し上げます。

今後、子供たちが先祖の国、母県を体験し将来には日本という国、福岡に貢献することを願うことを期待します。有難うございました。

## Eグループ



シアトル・タコマ福  
岡県人会

藤本 翔 エイダン  
FUJIMOTO AIDAN SHO

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

一番印象的なことは、訪問した小学校が綺麗で、みんなすごく元気で、教室での授業も、みんなしっかりと勉強する姿を何度も拝見しました。そうめんを食べる時には、竹で作った台に、お水と一緒に流れてくれて、そのまま取って食べてよいということでした。初めて日本の茶道で、抹茶も作ることができて、とても楽しかったです。日本の太鼓の叩き方、そして、大勢な友だちと一緒にいくつある遊び方も教えていただきました。防災センターでは、消火器を使って、ある程度の火事を消せる方法も教えていただきました。そして、地震時に自分を守る方法など、たくさん勉強になりました。さらに、日本の道路で走っていたたくさんの車は、ほとんど最先端技術、最新式の車で、とても格好よかったです。もう一つ学んだことは、他のいろいろな国にある福岡県人会の友だちから教えていただいた、みんなの様々な文化と慣習の事も、たくさん勉強になりました。ありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

エイダンはプログラムに参加した後、自信を持って人と交流する力を得て来た事と思えます。彼にとっては異国で、世界中から集まった人々と一緒に時間を過ごす事によって、多くの文化及び伝統の存在を認識する事が出来ました。これらの違いをプログラムで経験し、新しい友だちと御互い学び、祝い、大切にすることを理解して戻って参りました。多少責任感も増し、食卓の後片付けを自分から行う様になりました。僅かな期間でございましたが、確実に成長して帰ってきました。誠にありがとうございました。



南加福岡県人会

レムリア 広中 瑠菜  
REMULLA LUNA HIRONAKA

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、日本でいろいろなすばらしい経験ができました。私たちは、小学校で同じ学年のお友達と教室や校庭で遊んだり、給食を食べたり、理科の授業を受けたりしました。中でも特に印象に残ったのは、給食の時間に生徒の係りが他の生徒に食事を配ったり、食べた後 ミルクのパックなどきれいに洗って、お皿を片づけたり、生徒が協力し合って自分達の身の回りを掃除したりなど、大人のを借りずに自分達で行動していることでした。アメリカでの私たちの生活とは違う点がたくさんありました。日本の生徒はアメリカに比べて、子供たちだけで独立した行動が取れていると思いました。そして、いろんな国から来たお友達と一緒に短期間暮らせたことも楽しい経験でした。お友達と話をしているうちに、国が違っても、私たちが思っていることや悩んでいることに共通点がたくさんあり、心が通じる仲になれました。国際交流センターの皆さんにとっても感謝しています。ありがとうございます。

### ～親御さんからのメッセージ～

この度は娘に貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。福岡県が主催するこのプログラムの素晴らしさにとても感心しました。これから少しずつ大人離れして行く 11 歳の子供たちが、自分たちの慣れない環境で得た経験は、今後少しずつでも考え方や生活に影響すると思っております。国際交流センターの皆様、南加福岡県人会の皆様にとっても感謝しております。



## Eグループ



南加福岡県人会

ブラウン チャーリー ユウ  
MATSUMOTO (BROWN) YU (CHARLES)

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

いろいろな国から、同じ福岡県にルーツがあると知りました。地震の恐ろしさも、初めて知りました。日本の文化をもっと知りたいと思います。土曜日の学校ではたくさんのことを習うし、社会の時間でもいっぱい日本の事を習います。青少年科学館では、いっぱい友達と遊ぶ時間がありました。また、いろいろな国の有名なことを学んだりしました。でも、最後の日だけは忘れないです。泣いてお別れをしました。ホームステイで僕は、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に過ごしました。いろいろな所にでかけたりしました。僕は、この有意義なプログラムに参加できて、もっと頑張りたいと思いました。そのために、勉強もスポーツも土曜日の学校も、もっと頑張りたいです。

### ～親御さんからのメッセージ～

今回のプログラムに参加出来た事、大変感謝致します。まずは、多国から参加していた友人との出会いです。アメリカ帰国後も連絡を取り合っている様です。将来の再会を楽しみに、一緒に頑張る仲間だと思います。次に、英語と日本語の二か国語を、両方を理解出来た事が非常に嬉しかった様です。そして、これからもアメリカで、日本語の勉強を続けていこうと強く思った様です。また、違う言語圏の文化、考え方に触れた事で、多様な価値観がある事に気づく事が出来た様です。将来は、県費留学生として福岡に戻って来る事が目標だそうです。福岡の未来に貢献し続けて欲しいと願います。最後に、福岡県国際交流の皆様、今回プログラムでお世話になりました皆様、ありがとうございました。



トロント福岡県人会

石井 歩加  
ISHII HONOKA

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私はこのプログラムに参加して自分と同じ福岡がルーツのお友達ができました。そして、言葉が通じなくてもコミュニケーションが取れて、お友達になれることがわかりました。グローバルアリーナでは、トランプをしたり、外で遊んだり、とても楽しかったです。流しそうめんと竹で作る水鉄砲と茶道は初めての体験でした。神社での参拝の仕方も学びました。4年ぶりにおばあちゃんに会えてうれしかったです。一緒に買い物に行って、お寿司を食べました。いとも遊びにきてくれて、一緒に花火をしました。このプログラムに参加したことは、この夏の一番の思い出です。ありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

この度は、娘が大変お世話になりました。このプログラムに携わるすべての方々に感謝いたします。出発の時、不安な表情のまま発ちましたが、帰ってきて娘の最初の言葉が「楽しかった」でした。日本で撮った写真を見ながら、日本での体験を話してくれました。日本ではほとんど日本語を使っていたようで、日本語力が向上しています。外国にお友達ができたことをとても喜んでます。

## Fグループ



ハワイ福岡県人会

タッパー ジョーダン  
TAPPER JORDAN EMI

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡では学校を訪問したり、親戚や友達の家ホームステイをして日本の文化や福岡のことをたくさん学び、私の家族の故郷についても学びました。福岡ではたくさんマナーを学びました。礼儀正しくすること、ありがとうと誰にでも言う事、レストランのウェイターやバスの運転手や、先生たちにありがとうという事。それから食事中に歩き回ったりしないこと。また、いただきますやいただきます、と食事の前に言うこと。私のひいおばあさんは100歳になりました。この特別な年に自分の歴史(heritage)について学ぶことができるとても光栄です。戻ってきて日本のことがもっと好きになりました。自分のルーツがある土地のことをもっと知りたいし、また早く行きたいです。

### ～親御さんからのメッセージ～

ジョーダンは、このプログラム参加後に、自信と自立心が強くなりました。国際的な交流を深めることと学びに加えて、積極的に他の参加者同士仲良くなる役目をしたり、強い友情を作ることができた事にとても嬉しく思っています。この素晴らしい経験ができたことにより、新しい学校でも勇気を持ち、安定感を保ち、心を開いて新しい友達を作り、学校での新しい事柄に容易にチャレンジできることと確信しています。この素晴らしい、そして忘れられない機会を与えてくださった福岡国際交流センターとハワイ福岡県人会に大変感謝しています。



ハワイ福岡県人会

ディア イサ  
DEER ISA TOKU

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私がこの素晴らしいプログラムで学んだ事は、日本とアメリカの礼儀の違いで、テーブルに脚を置かない、食べている時は喋らない、肘を付かず、お皿に手を添えるなどです。また、日本語が好きになり、もっと日本語を勉強したいです。また、全部自分でやることで、少し自分に自信が持てるようになりました。ハワイからの参加者やいろいろな国の人たちと友情関係も生まれ、強い絆で結ばれ、今ではとても大切な友達、仲間となりました。訪問した日本の小学校では、自分達で準備する給食、教室やお手洗いを掃除する。それは素晴らしい事だと思いました。沢山の日本、福岡に触れ、自分に日本の血が混じっている事に誇りを感じました。まだまだこれから沢山の辛い事もあるかも知れませんが、この視元を離れて過ごせた自分思い出し、誇りに思い、色々な事を今後乗り感えて行きたいと思えます。

### ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムを終えて、我が子が以前より大きく、逞しく見えました。率先して自分でやり、普段私達がやっている事への感謝も、以前より持ってくれる様になりました。また、自分自身に自信が持てる様になったと思えます。日本語にもより興味を持ち、積極的に話す様になりました。各国から来た友達、小学校での出会いもとても貴重な物になったと思えます。今回のプログラム参加により、何事にも怖がらずに挑戦すると言う気持ちになりました。このプログラムをやり遂げた自分をきっと誇りに思っているのが良く分かりました。自分達で準備する日本の給食、自分達で教室、お手洗いを掃除するという経験もさせてもらい、普段普通にやってもらっている事への感謝の気持ちが生まれた様に思えます。これから先の長い人生、色々な事があり、色々な経験をしたいと思います。その時に今回の経験がいさにとり、必ず役に立つと私は思っています。沢山の出会い、いさは一生忘れる事はないでしょう。素晴らしいプログラムへの参加、本当に有難うございました。いさ共々、皆さんに感謝しています。

## Fグループ



ハワイ福岡県人会

紀村 ジョナサン  
KIMURA JONATHAN MAKANA CHIAKI

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕が気に入った伝統は、ティー・セレモニー（茶道）です。茶道はフォーカス（精神を集中）するもので、それはとても難しいことです。日本の学校は、僕が通っている学校よりもはるかに大きく、学校のランチはもっと美味しかったです。日本の生徒たちは靴を脱いで学校のスリッパを履かなくてはいけなくて、また学校が終わった後に教室や廊下を掃除しないといけない、ということにびっくりしました。日本の学校を訪問することはとても楽しかったです。この旅行での一番良かったことは、ホームステイのお母さんと滞在したこと。生まれて初めて日本の布団で寝ました。それはとっても心地よかったです。日本のスナック（お菓子）はとても美味しく、買うのに少しのお金しかかかりません。ハワイとは違います。日本のお寺にも行き、お寺の伝統について少し習いました。それは、日本の文化を学び、違う食べ物を食べてみるという素晴らしい体験だったと思います。僕は僕の文化と歴史・継承 (heritage) を学び、そして少し日本語も学びました。こういうことを学ぶと、自分のルーツ (heritage) を身近に感じることができます。この機会にとっても感謝しています。

### ～親御さんからのメッセージ～

ジョナサンは、今まで新しい食べ物を嫌がっていたのですが、チャレンジして食べることができるようになったことに気がつきました。納豆を食べてみた、と聞いてびっくりし、今まで食べなかった魚を食べるようになったことに喜んでいました。いまでは整理整頓ができて責任を持つことができるといことに気がつきました。彼は自分の歴史・ルーツ (heritage) や文化や言語に興味を持ち、学ぼうとしています。ジョナサンは責任を持って行動できる、そして社会的な少年に成長しました。進んで新しいことを学び、新しい場所に行くようになりました。私の息子に、2018年の福岡県担い手育成短期訪問プログラムに参加するという機会を与えてくれたハワイ福岡県人会と福岡県に大変感謝しています。



コナ福岡県人会

アサクラ ライリー  
ASAKURA RILEY KIYOSHI

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の福岡県で、僕はたくさんのことを学び取得しました。今はお友達を作るのにいろんな方法があることを学びました。会話がなくてもコミュニケーションが取れて、一日以上他の人たちと一緒に過ごすことができました。僕は、今は少し多く日本語を知り、もっと日本の野生生物や多くの福岡の歴史を知りました。福岡で得たことや知識をこれからの人生で活かしていきたいです。僕たちはすべてを見ることはできませんでしたが、寺院、学校、福岡タワーのようなたくさんの興味深いところに行きました。お気に入り、ラーメンの作り方です。これらがまさに僕が日本で得て学んで楽しんだことです。僕は近いうちに日本に戻りたいと願っています。

### ～親御さんからのメッセージ～

日本から帰ってきてから、彼は新しいこと、あるいは不慣れたことへのチャレンジしていくことに自信に満ちています。彼は、世界中からのたくさんの“友達”と出会って、本当に楽しく過ごしてきました。彼は日本語も含む彼の受け継いでいる日本の伝統と文化をより良く理解するようになりました。同様に彼は今では日本と彼の会った人たちが来た他の国々へもっと旅行したいと思っています。自立したり、新しいことを経験したりすることができてとても素晴らしいと思います。

## Fグループ



バンクーバー福岡県人  
会

片山 シャンティ 蒼空  
KATAYAMA SHANTI SORA

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は福岡県に感謝をしています。

特に今回のプログラムでは、親の手伝いもなく、一人で考えて、行動できることを学びました。福岡で過ごした10日間で、たくさんの友達を作りました。新しく作った友達とマリノワールドでイルカショーを見たり、そうめん流しをしたり、日本の小学校に行ったり、毎晩トランプ大会をしたりしました。このプログラムで作った友達と一緒に経験したさまざまな出来事は絶対忘れません。このプログラムのおかげで、私は知らなかった国のことを学びました。パラグアイは南アメリカの真ん中にあること、ボリビアの食べ物は全部からいと言うこと、ペルーはファイアーダンスがとても有名だということなどです。大人になったら、行ってみたいと思いました。最後に、このプログラムを作ってくれた方々に感謝をしたいです。バンクーバー福岡県人会と、子弟招聘プログラムがなければ、私は、同じルーツをもつ他国の友達と出会い、このようなすばらしい経験をする事ができませんでした。本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

この度は我が家の3女である蒼空が本プログラムに参加させて頂き、心より感謝申し上げます。満を持しての参加でしたので、本人は日本へ行く前から非常に楽しみにしておりました。無事にカナダに帰国してからの娘を見て一番に思ったことは、「太った！」ということ、わがままも言えず出していただけるものはちゃんと頂くとする本人なりの考えの結果であると受け取り、私にとっては三女の一番の成長の証でした。また、帰国後の娘は、行動する前に一度考えて実行に移す、と言う風に変ったように思います。これはきっと、親がいない間に自分で判断することを迫られた状況が、本人を強く、そして自信に繋がった結果であると思います。おそらく何をやるにも「自信」が見られるのだと、最近になって気づきました。これから娘が大人になっていく過程で、今回のプログラムで彼女が得た経験と知識は様々なところでプラスとなり影響を及ぼしていくでしょう。同じルーツを共有する他国のお友達がたくさんいると言うこと、そのお友達が日本語や日本の文化をととても大事にして、自分の国で生きていると言うことを体感して得た驚きや新鮮さが、娘がこれから経験するでこぼこ道を補ったり修正したりするツールの一つとなることと信じています。このような経験を与えてくださいました福岡県と交流センターの方々、そしてバンクーバー福岡県人会には心より感謝しています。子供達には福岡県人のルーツをもつ、立派な福岡県人であることを誇りに、今後もバンクーバー福岡県人会に貢献し、将来は福岡県にも恩返しができれば大変嬉しいと思っています。本当にありがとうございました。

# 参加者レポート 引率者

## Aグループ



ブラジル福岡県人会

重 エリッキ 和男  
Erich Kazuo Shigue

私は2014年の県費留学生の時、このプログラムにサポートとして参加していましたが、もう一度福岡県の様々な場所へ行くことはとても懐かしくて、素晴らしい経験だと思います。そして、スケジュールが違ったので、知らなかった場所にも連れて行って頂きました。例えば世界遺産の宗像神社と木屋瀬小学校の近くの長崎街道、江戸時代の参勤交代の道の一つでした。宗像神社でボランティアの人たちは鳥居、橋、狛犬の意味とその神社が世界遺産になった理由を教えて頂きました。そして、林の中で見たことがない神聖な場所を見て、驚きました。また、今年私は日本の歴史に関するコースを受けているので、長崎街道とみちの郷土史料館へ行って見たことがとても良い機会でした。今回私は引率者で、一人で子供の4人を連れて行って、思ったより挑戦でしたが、本当に良い経験だと思います。子供達は自分の目で日本の組織や規律や清潔さなどを体験できました。例えば、小学校で学生達は一緒に食事、掃除、片付けを全部します。ブラジルの学校で学生はしないので、子供達はそれを見た後自分の責任感が増えるかもしれませんが、その経験はとても良いと思います。他の国の参加者との交流も良く、面白かったです。最初はブラジルの子供達にとって言語障壁が問題でしたが、プログラムの間に皆は友達になりました。私も子供、引率者、留学生、福岡県国際交流センターのスタッフ、皆と仲良くして、本当に楽しかったです。子弟招へい事業は非常に素晴らしい機会だと思います。子供も引率者もいろんな国の福岡県人会の人々は、祖先の故郷を訪問します。そして、自分のルーツについて学んで、興味深い観光地へ行って、美味しい料理を食べて、異なる国の人と交流をして、様々な体験することができます。このプログラムのおかげで年々県人会の活動に参加する人は増えていきます。理由は皆が感謝な気持ちと興味を持つからです。私は福岡県とブラジル福岡県人会にも心から感謝して、子弟招へい事業で作った思い出を忘れないです。

## Bグループ



在ポリアビア福岡県人会

仁田原 愛  
Ai Nitabaru Fukaura

今回のプログラムに参加することは実は予定しておらず、突然決まった後も、子ども達の準備や、意識やモチベーションの向上など、保護者の方々を含め話し合う機会を幾度が設けさせて頂きながら、彼らの準備は着々と進んでいきましたが、自分自身が引率者として深く関わることや、大人になった今、こうしたプログラムに参加させて頂けることの意義等、仕事の忙しさや準備の僅ただしさもあり深く考えることも無く、気が付けば福岡の地を踏んでいました。

十数年前、県費留学生として学び経験させて頂いたことを懐かしく振り返りながら、日々の活動に参加させて頂きました。博多弁が耳に心地良く、じっくりとした暑さにも自然と体がなじむ感覚、なんだか故郷に戻ったような気分でした。

地域の方々や子どもたちとの交流の中で、若い頃は気が付かなかった人々の暖かさや、地元を強く思う気持ち、その気持ちを表す様々な活動にふれ、とても大きな刺激になりました。そしてまた、他国の引率の方々や子ども達との共同生活や交流、活動の中で学び得たものはとても大きく、日系社会だからこその県人会の活動、日系人としての可能性や、必ずやらなければいけないことが沢山あることに気付かされ、これからの県人会を盛り上げ、福岡との絆を強く深く保っていくのは、連れて行った子ども達の前に、私達世代の役割であることを強く感じました。

これらの学びや想い、福岡県人の心を胸に、これからはポリアビア福岡県人会の先輩方や、現役で引っ張ってくださっている方々、同世代・次世代の福岡県人の仲間と共に、地元にあった県人会を考え、ルーツのある福岡県との懸け橋となり絆を深めていく活動に積極的に関わっていかれたらと思っております。

この貴重な経験を可能にし、サポートして頂いた福岡国際交流センターの皆様、家族会の皆様、ホストファミリーの皆様、ポリアビア福岡県人会の皆様、福岡で出会ったすべての方々にも心より感謝申し上げます。

### Cグループ



コロンビア福岡県人会

森光 パウラ 春美  
Paula Harumi Morimitsu

今回日本に引率者として行って学んだことがたくさんあります。

例えば、小学校見学をした時にコロンビアの学校と日本の学校の違いがとてもすごかったです。子どもたちが責任をもって自分の給食を運んだり、片づけたり、それだけではなく、自分たちの教室をきれいにしたり、コロンビアの学校では、全然目につかないことです。そんな小さな違いがきっと文化の違いにもつながってくるのではないかと覆います。学ばなくてはならないことがたくさんあると思います。そんな文化に日系の子どもたちや私たちが近づき、新しい経験ができて、とても光栄です。

それだけではなく、なぜ私たちが日系なのか、なぜ私たちに日本の血が入っているのか、自分のルーツについて少し知ることができて、県会のみなさんも私たちのことを外国人ではなく、日系なのだとかやさしくサポートしてくれて、他の国との共通点が福岡でとても居心地がよかったです。そんな幸せな経験ができて、とてもうれしかったです。これからコロンビア福岡県人会でも私たち若者がリードして、コロンビアと福岡（日本）との懸け橋になればうれしいです。本当にありがとうございました。

### Cグループ



メキシコ福岡県人会

タナマチ カストロ ヘラルド  
Tanamachi Castro Gerardo

私にとっては、今年度県人会担い手育成招へい事業に参加する機会を与えていただいたことはとてもよかったですと思います。

4年前県費留学をきっかけにこのプログラムに参加しましたが、今回、短い時間でも日本文化の理解を深めながら福岡と各県人会との繋がりを強めました。また、福岡の魅力を再び味わって喜びました。

皆の親切さで素晴らしい時間を過ごしました。でも、楽しむだけではなく、参加者との交流を通じて他の国と日系社会についていろいろ習いました。さらに、日本語を練習したり、宗像大社や木屋瀬などのような歴史的に大切な場所へ連れて行ってくださったりして勉強になりました。

教育は社会の大事な要素で、子弟と一緒に小学校を訪問したのはとても面白かったです。

さて、ホームステイの3日間、自分の親戚に幸いに会えて、日本人の日常生活をしばらく経験しました。

このように、身の上及び県人会会員としてこのプログラムに参加して、役に立つ得たことと学んだことが多くあると思います。

### Cグループ



ペルー福岡県人会

イシカワ タティアナ  
Ishikawa Tatiana

このプログラムに参加することができて、よかったですと思います。とくに、子供達が直接自分から福岡の文化や習慣、日本の子供達と交流ができて、いい経験だと思います。ペルーと日本の文化や習慣の違いが多くあって、たとえば、子供達は不思議そうに和式トイレを見ていて、その使い方を聞かれました。ラーメンを作ったり、色々な料理を食べたり、面白くて、とてもおいしかったです。お寺を見学したときのガイドの説明が分かりやすくとても印象に残りました。

那珂小学校と木屋瀬小学校との交流は、子どもたちだけでなく大人にも素晴らしい経験を残してくれました。日本の学校での一日、学ぶことがいっぱいありました。学校への訪問は欠かせない活動の一つだと思います。

ペルーは日本と同じ地震などが多く、福岡市民防災センターで乗って、見て、知って、体験して、もしものときの防災に関する知識を身に付け、楽しみながら、災害について学ぶことができました。大変勉強になりました。

私にとって、日本語があまり上手ではなく、日本人とコミュニケーションとることがとても難しかったです。ほかの参加者との共通な言語を見つけるまでとても苦労しました。この大きな機会を与えていただけてすごく感謝しています。日本でお世話になった交流センターの皆さん、暖かく歓迎してくれた那珂小学校、木屋瀬小学校、ホームステイのご家族、本当にどうもありがとうございました。

### Dグループ



パラグアイ福岡県人会

アルサメンディア 松尾 マルセロ ヒデキ  
Arzamendia Matsuo Marcelo Hideki

私は、引率者として初めて参加しました。大変貴重な経験をさせて頂き感謝いたします。

子弟の松尾勇夢は、帰国して約一カ月になりますが、福岡のでの経験をはば毎日のように話しています。日本語も英語も話すようになりました。

この研修を通し、彼は福岡県、また日本と言う国に今まで以上に興味を持つようになりました。日本での経験は特に文化の違いには驚いています。

福岡市が自分の思っていた以上に大都市であったこと、日本人はよく魚や米を食べること等です。今、彼は福岡で知り合った子供と連絡を取り合いこの研修を通じて多くの友達ができ、大きく成長致しました。

この様に次世代に福岡を知る機会を与えてくださった福岡国際交流センターの皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです、ありがとうございました。



### Eグループ



シアトル・タコマ福岡県人会

クイック 恵美  
Megumi Sarah Quick

福岡県国際交流センターのみなさま、プログラムの際は多岐にわたりサポートいただき、ありがとうございました。私は引率者として、子どもたちの文化交流と福岡に対する興味を高める活動を支援したいと思い参加を決めたのですが、この活動に参加することによって、私もたくさんを学び、得ることができました。プログラムを通して、福岡県の歴史、そして「今」を知ることができました。木屋瀬の街並み、木屋瀬宿場記念館、宗像大社、としてホームステイ中に見た山笠など、福岡の人々がどのように生活を豊かにし、発展して来たのかを肌で感じることができました。又、小学校訪問や福岡タワー、水族館を訪れる事で、現代の福岡の人々の生活を体験することができました。昔も今も、活気あふれる魅力的な地であるという印象を受けました。子どもたち、福岡・日本の文化と歴史に興味を湧き立たせる瞬間にも立ち会うことができるとてもうれしかったです。さらに、日本語と日本文化の歴史の勉強に励み、再度福岡を訪れてほしいです。改めて、私にこのような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

### Eグループ



トロント福岡県人会

福間 美香 キャサリン  
Fukuma Mika Katherine

2018年度の県人会担い手育成招へい事業に、引率者として参加できて、大変嬉しく思っています。短い期間でしたが、本当に充実したスケジュールで子供達だけではなく、大人の私も本当に勉強になりました。参加者のほとんどが海外の日系人だったので、皆様も同じように思っていると思います。

まず、アメリカ大陸の福岡県人会の皆様と知り合いになって、県人会の様子や違いを色々話すことができ勉強になりました。皆さんは本当に良い人ばかりで、素晴らしい機会を与えてくださった国際交流センターに大変感謝しています。それぞれの国の紹介では知らないことばかりだったので私も興味深く聞き、その国々に遊びに行きたくなりました。子供達も全員仲良くなれて本当に楽しかったです。トロントから参加した歩加ちゃんは帰ってから子供たちと連絡を取っているそうです。

スケジュールもよく考え抜かれていて、小学校の訪問などは、大人にも興味深いものになっていたでしょう。30年以上前に東京の小学校に体験入学したことがあります。その時の知識を、今回の小学校の体験で、より最近のものに塗り替えることができました。教室にエアコンがあるのがありがたかったです。そして、ドッジボールを生徒に誘われて30年ぶりにしたのですが、なんとか無事にやれました。折紙、お習字、給食、お掃除など色々体験できました。カナダの紹介の時、日本の生徒がカナダに興味を持ってきて、たくさん質問してくれたのが印象的でした。本当に皆様親切で良い体験ができました。太鼓もなんとかみんなで頑張って1曲叩くことができました。こればかりはチームワークなのでみんなに拍手を送りたいです。

日本はとにかく暑くて、毎年夏を生き抜いている日本人は改めてすごいと思いました。20年前に交流センターの短期プログラムに参加しているのですが、今回は福岡県にさらに関心を持つようになりました。父の故郷を胸張ってお勧めできるようになったのが嬉しいです。

今回素晴らしい体験を子供たちだけでなく大人の私にも経験する機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。この経験を生かして、これからもトロント福岡県人会をサポートしたいと思っています。

## Fグループ



ハワイ福岡県人会

イノウエ ジョーイス  
Inouye Joyce

福岡県出身者の子孫を対象とした県人会担い手育成招聘事業に2012年に子供を参加させた親として、息子がいろいろなことを経験する機会を与えて下さり深く感謝しています。その時の写真を見て、習慣、料理、歴史などどのような文化に息子が触れたのわかりました。旅から帰ってきた息子は、自分の中にある日本的なものに興味津々でした。旅行の前は自分が日系人（5世）であることにはあまり関心がありませんでしたが、旅行後は学校で選択科目として日本語の授業を5年も受けています。

引率者として、私は日本の人にとって何が重要なのかをより理解できるようになったと思います。旅の途中でいろいろな人に出会いましたが、日本の人が重要と考えるものは心からの尊敬と他人に対する感謝であることに気が付きました。どこで出会っても、お辞儀をして挨拶をし、お辞儀をしてありがとう、さようならと言います。誰か新しい人に出会って礼儀正しく挨拶をするということではなく、それが日本の人にとって日常なのです。きちんと挨拶をして敬意を表し、きちんとお礼を言うことは重要なことなのです。日本人と一緒にいると、仕方なくということではなく、恩返しをして、人の努力に感謝し、意義深く特別な経験となるよう手助けしてくれた人に謝意を表すようにしなければならぬとより気づくようになりました。

この企画の素晴らしい点は、青少年にこのような経験をさせることによって県人会の会員の獲得につながるというだけでなく、日本人が全体としてどのように考え、ふるまい、行動するのか青少年が理解できるようになるという利点があると考えます。青少年参加者はたくさんの経験という財産だけをもって福岡を去ったのではなく、よき人となり時に左右されない普遍的行動を身につけ、日本人として最高の教育（例えば、してもらったことに対する感謝の念をもって人にやさしくしたり、自分や他人特に年配者に対して敬意を表したり、自分が何者でありどこから来たのかについて誉と誇りをもつこと）を受けたと思っています。そして、これはこの企画中ずっと通して教えられ強調されたことです。

その他この企画を通して理解したことは、チームワークという考え方です。引率者である私たちは、参加者の面倒を見るように担当を割り当てられていましたが、引率者も参加者の子供たちも同じように、全ての人の安全と、放っておかれている人がいないか、気を付けていました。このような気持ちを持つことで、全ての子供と大人が短期間で仲良くなることができました。4人（女子1人と男子3人）を担当する引率者として、全ての子供をいつも見ていることは不可能でした。私は他の引率者とよき先輩となる年長の子供に頼っていました。（特に私の担当の男子と同室の引率者にはお願いしました）

本企画責任者、そして県知事の話聞いて、この企画の要点についてより理解を深めました。重要な点が誤訳されていないならば、この企画の重要な点は、連絡を維持し会員数を増やすことによって、世界中の福岡県人会を継続させることにあります。私は、この企画の目的がより意義深いものとなり、単に会員数を増やすだけのもの以上となることを望んでいます。毎年この企画に費やされる時間と費用を考えると、目的は一週間にわたって日本のライフスタイル経験するだけでなく、生涯にわたってよき人となるような日本の習慣を身につけられるものとするのがよいのではないのでしょうか。

現在県人会は年配者が多く、青年層（20代から30代）の会員が必要です。もし青年層のための企画があれば、県会ももっと活発になるのではないのでしょうか。もし県人会がこのような企画の窓口であれば、若い人にもっとアピールできると思います。

福岡県人の子孫のためにこのような機会を与えて下さり感謝します。ハワイからの参加者は素晴らしい経験をすることができ、そのことを忘れず、ハワイ福岡県人会のほか会員にいつも話を参加するよう促しています。

ホリ・ミュキ様、この旅の企画、準備、調整、そして実施中にご尽力頂き深く感謝しています。お陰様で参加者は最高の経験をすることができました。いろいろなところに行くための調整や（世界各地からの）飛行機の手配、バスの用意、引率者や参加者との毎夜の会議、みんなへの励まし、安全、そして最高の経験など厚く御礼申し上げます。

## Fグループ



バンクーバー福岡県人会

亀頭 加代子  
Kamezu Kayoko

今回、このプログラムに参加させていただき、ありがとうございました。子どもたちにとっても、引率した私たちにとっても、貴重な体験ができたと思います。様々なアクティビティがありましたが、その中でも、自分たちのルーツを知るということで、小学校での子どもたちとのふれ合いが一番印象深かったです。迎え入れてくださった小学校では、いろいろと準備してくれていて、そこから日本のおもてなしの心が伝わったのではないかと思います。相手がどうしたら喜ぶかについて、時間をかけて練習準備してくれていたのがうかがえました。日本を出て、改めて、日本の集団・和の力・おもてなしの心などを感じ、これらを大切にすると日本の良さが伝わるというなと思いました。また、休み時間には、ドッジボールやゲームを通して、人種や言葉の壁もなく、子ども同士、楽しく遊んでいた姿も印象的でした。子どもたちにとっても、私自身にとっても、とても良い経験になったので、ぜひこのプログラムは続いて欲しいですし、他の方にも体験していただきたいです。ありがとうございました。

参加者レポート  
福岡県移住者子弟留学生

**Aグループ**

**ブラジル福岡県人会**

**中村幸恵サリー**  
**Nakamura Yukie Sally**

子弟招へいで子供達の面倒を見て、県人会を手伝っただけでなく楽しむことも出来てとても良かったです。大学の疲れを取るだけでなく、いろんな新しい人と出会い、その人たちと福岡を知るのとても大切だと思います。プログラムに参加した事で、子供との接し方を習い、彼らと、このプログラムでしか学べないことを学ぶことが出来ました。日本の小学校の日常を見ることは、とても有意義な経験だと思います。

このプログラムで子供達も県費留学に興味を持ってくれてとても嬉しかったです。こうやって、将来、この子供達が、私たちが今いるところに立つのだな、と思いました。この子供達もいつか子弟招へいで子供の面倒を見て、それもいつかの未来に繋がるのだなと考えて嬉しくなりました。私も、もっと大人にならなければいけないことも、実感することが出来ました。またいつか、ブラジルに戻った時もその後も、この子供達がどう歩むのかを見るのが楽しみです。

**Aグループ**

**ブラジル福岡県人会**

**恒富 ジアナ 美樹**  
**Tsunetomi Diana Miki**

子供と一緒に過ごした選は、楽しいものでした。私は他の国々から参加した多くの人々を知り、日本の文化についてもっと学ぶ必要があると感じました。それはとても暑かったですが、すべての活動はとても楽しいものでした。私は、私と子供の両方にとって素晴らしい学習体験だったと思います。私が学んだことのすべては、将来の利益であり、多くの日系人がいる国での日本文化の波及に非常に重要であることを願っています。伝統のためには、文化的、知的、特に個人的な成長のために素晴らしい、そして非常に重要なことがあります。

**Bグループ**

**在ボリビア福岡県人会**

**オガタ ナカムラ デニセ ミナ**  
**Ogata Nakamura Denise Mina**

子弟招へいプログラムについて、私はあまり理解していなかったです。この活動に参加することができて、ほんとにうれしかったです。日本の文化をまなべてすごくよかったです。ボリビアの文化とは、まったく違いました。挨拶も違います。私が日本でみたのは、子どもたちは、何でも一人でできます。このプログラムで、私に、他の国の日系人と会う機会をいただきました。その2週間で、みんな一緒に過ごすことができました。子どもたちも大人も今でも、連絡をとっています。子どもたちが友達になるのに言葉はいらないかのように、いい経験をさせていただきました。

### Cグループ



メキシコ福岡県人会

田中 ゴーメス ヨシロ アルフレード  
Tanaka Gomez Yoshiro Alfredo

このプログラムはとても充実していました。子供たちと留学生は、日本の伝統的な活動を楽しみました。学んだことは、子供たちが日本の文化に興味を持っていたことです。私は言語が交流の壁にならなかったことに驚きました。子供たちはスペイン語、英語、ポルトガル語と日本語のどれかをはなしました。言葉がちがってもみんな分かり合っていました。子供たちは言葉を早く学び、日本語をはなせなかった子供も、帰るときには話せるようになっていました。子供たちは、いろいろな国の新しいともだちをつくりました。子供たちの日本のルーツの文化を学んだのでとてもよかったです。

### Dグループ



ペルー福岡県人会

たくま 新川 ジェシカ  
Takuma Shinkawa Jessica

県費のプログラムから、一番多く学んだことは、文化交流です。おたがいのことばを知らなくても、子供たちはコミュニケーションをとることができるのを見たことが、もっとも興味深かったです。

たくさんの交流イベントがあったことにも、感謝しています。例えば、いくつかの小学校へ行き、実際に授業が行われるのを見られたことは、とても楽しかったです。子供たちもきっと楽しんだと思います。昼休みが終わったら、教室をそうじするのは驚きました。それは、しつけと尊敬を教えるものだからです。

みずでっぼうや、ソーメン流し、折り紙、書道など、たくさんの日本の活動を文化交流として体験できたのは楽しく、興味深かったです。ラテンアメリカや北アメリカからの子供たちは、日本の文化を自国で伝え、より多くのことを学びたいと思います。

互いの国のことを学ぶためには、互いの考えや習慣を尊重し、つねに学ぶ気持ちで接することができれば、国境の壁はなくなるということをこのプログラムで学びました。



パラグアイ福岡県人会

北川 徹也  
Kitagawa Tetsuya

2018 県人会担い手育成招へいのプログラムに参加して、色々な事を学びました。凄いなと思ったのは、来たばかりの時に、日本語が分からないと言っていた子供達が、プログラムの後半に入るところには自己紹介をスムーズにしていたことです。そして家族会、ホームステイの方達と多くの子供達がコミュニケーションをとっているのを見て「何を言っているのか分かる？」と聞くと「話すのは難しいけれど言っていることは結構分かる」と言う返事を聞いた時は、習得の早さにびっくりしました。‘もし子供達が1ヵ月間日本で過ごすも母国で何年も日本語を勉強するよりも覚えるだろう’、‘自分は大学でよく英語を聞けけれど何で覚えられないだろう’など感動と情けを同時に感じました。色々な場所を訪問した中でも小学校で学生達が小さいながらも丁寧に「おもてなし、おもてなしをせんといかん」と友達と話しながら子供、留学生、引率者のお世話をする姿、嫌な顔せずに給食の準備、後片づけ、掃除などをしてのを見たときに‘こういった指導から日本の文化が他の国から尊敬されるのかな’と思いました。

そしてこのプログラムで自分が得た一番大切な物は、住む国は違うけれど親、または祖父母が同じルーツと言った共通点を持つ幅広い世代の人達と知り合う事が出来た事です。

### Eグループ



ブラジル福岡県人会

新垣 要吉 ファービオ  
Arakaki Fabio Tokiti

プログラムに参加して、友達と子供たちと一緒に、様々な体験をして、日本の文化や歴史の事を習いました。だけど、スケジュールに書いた物だけではなく、もっと色々な事を学びました。様々な国の人達とふれあいながら、その人の国の文化を少しだけ分かりました。文化の違いを分かる事は大切だと思います。まだよく知らない人達と協力して協調性の練習になりました。子供達の世話をするのが大変でしたが、それも勉強になりましたと思います。  
最後に一番大事でしたのはこのプログラムに参加した人達の繋ぎです。

### Fグループ



アルゼンチン福岡県人会

船越 カティア 亜矢子  
Funakoshi Katia Ayako

このプログラムに参加して色々なことを経験しました。日本文化を守って、その知識を教えるのが大切だと思います。県人会は、毎年若い参加者が減っています。そして、日本文化も少しずつなくなっています。このプログラムで福岡に興味を持たせる力があると、参加して分かりました。いろんな国の県人会の子供たちは、あまり言葉がわからなくても、文化についてすごく興味があります。母国では経験出来ないことがあって、皆、喜びながら福岡のことを学びました。  
日本の学校に初めて行って驚きました。生徒はまだ小さいのに、すごく親切で、優しく私たちが歓迎してくれました。その優しさに感動しました。太鼓、折り紙、浴衣、けん玉、書道、茶道の体験はとても大切だと思います。アルゼンチンの子供が来られなくて残念でした。  
国に帰ってからこのプログラムの内容と目的を福岡県人会の参加者に説明します。こんな機会は福岡にしかないの、知らない人がいるともったいないと思います。  
十日間一緒にいた子供たちがまた県費留学生として福岡に戻ってくることを楽しみにしておきます。

# 福岡県出身の移住者やその子弟等で 構成される海外の県人会について

## ■福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まり、129年を経過

### (2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位 広島 98,975人

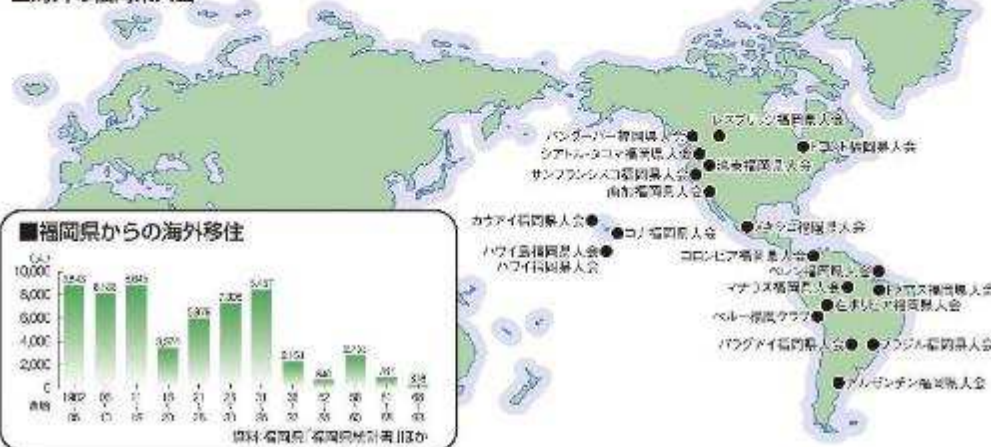
第2位 沖縄 79,454人

第3位 熊本 72,699人

第4位 福岡 55,776人

第5位 山口 47,430人

## ■海外の福岡県人会



アルゼンチン	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ島福岡県人会
ボリビア	在ボリビア福岡県人会	カナダ	バンクーバー福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	カウアイ福岡県人会
ブラジル	ベレン福岡県人会	コロンビア	コロンビア福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	コナ福岡県人会
ブラジル	ブラジル福岡県人会	メキシコ	メキシコ福岡県人会	アメリカ(本土)	東部福岡県人会
ブラジル	マナウス福岡県人会	パラグアイ	パラグアイ福岡県人会	アメリカ(本土)	サンフランシスコ福岡県人会
ブラジル	トメアス福岡県人会	ペルー	ペルー福岡クラブ	アメリカ(本土)	シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ福岡県人会	アメリカ(本土)	滝東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会



## 県人会担い手育成招へい事業 実施要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、県人会担い手育成招へい事業の実施に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 この事業は、移住者及びその子孫からなる海外福岡県人会（以下「県人会」という。）会員の子弟及び青年リーダーを本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的とする。

### (事業内容)

第3条 前条の目的を達成するため、次の活動を基本とする事業を実施する。

- (1) 同年代の子どもたちとの交流
- (2) 福岡の魅力に触れる
- (3) ルーツを探る
- (4) 日本文化の体験

### (招へいする子弟の条件)

第4条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的を理解していること
- (2) 海外福岡県人会会員の子弟であること
- (3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること
- (4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (5) 心身共に健康であること
- (6) 日常の身の回りのことが一人でできること
- (7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること
- (8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない子弟であること

### (青年リーダーの参加条件)

第5条 招へいする子弟は青年リーダーが帯同するものとする。

- 1 青年リーダーは次の各号に掲げる条件を備えるものとする。
  - (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
  - (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
  - (3) 海外福岡県人会の会員であること
  - (4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父（叔父）、伯母（叔母）ではないこと
  - (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
  - (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること
  - (7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
  - (8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること
  - (9) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

### (申請書の提出)

第6条 招へい事業の参加希望者は、県人会担い手育成招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、公益財団法人福岡県国際交流センター理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。

### (選考及び招へい者の決定)

第7条 理事長は、招へい者を決定するため、県人会担い手育成招へい事業招へい者選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

- 2 理事長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、招へい者を決定する。
- 3 理事長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

### (選考委員会)

第8条 前条の選考委員会は、委員長、副委員長及び委員で組織し、それぞれ別表に掲げる職にある者を充てるものとする。

- 2 選考委員会は、委員長が招集し、開催する。
- 3 選考委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が定める。

### (経費)

第9条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、公益財団法人福岡県国際交流センターが負担する。

### (その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

### 附則

この要綱は、平成29年5月1日より施行する。

**2018.7.6~17**  
**Short Term Visit Program for**  
**Young Descendants of Immigrants**  
**from Fukuoka Prefecture**